

# 令和2年度岡山県献血推進協議会

## 血液事業の概要

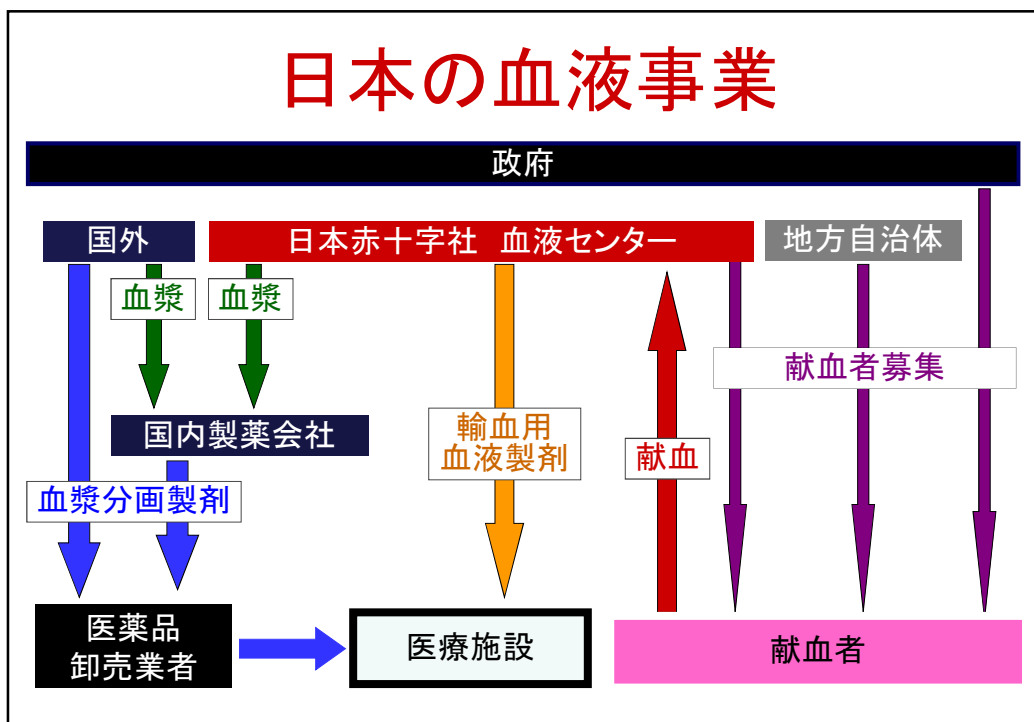


日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

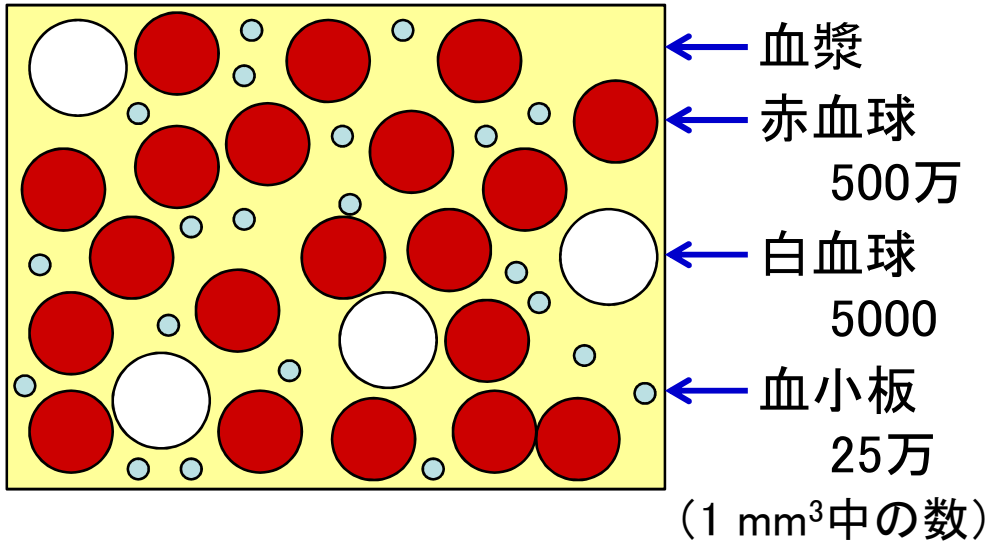
岡山県赤十字血液センター

所長 池田 和真

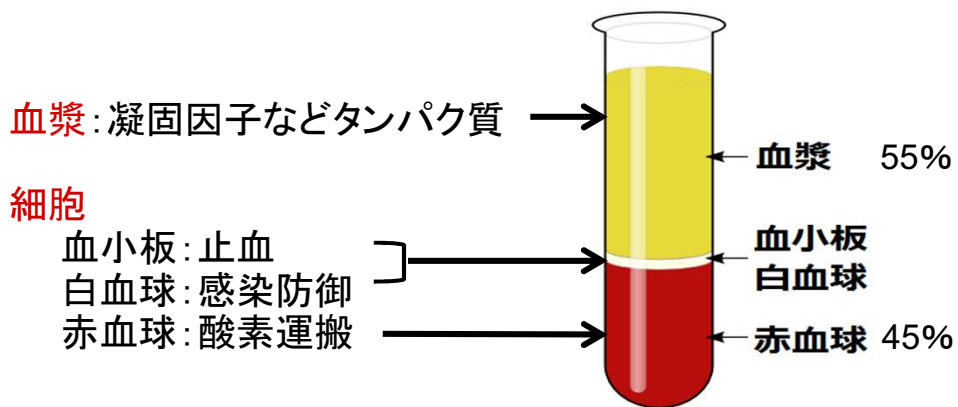
## 日本の血液事業



# 血液



## 血液 = 血漿 + 細胞



# 輸血用血液の種類



## 赤血球製剤

出血、赤血球の機能低下による酸素欠乏

有効期間: 21日間



## 新鮮凍結血漿

血液凝固因子の欠乏による出血

有効期間: 1年間



## 血小板製剤

血小板の減少や機能低下による出血

有効期間: 4日間



●血液の有効期間は非常に短く、継続的な献血が必要とされています。

# 血漿分画製剤

急な出血、やけどの治療に



重症感染症の患者さんに



B型肝炎の予防や治療に

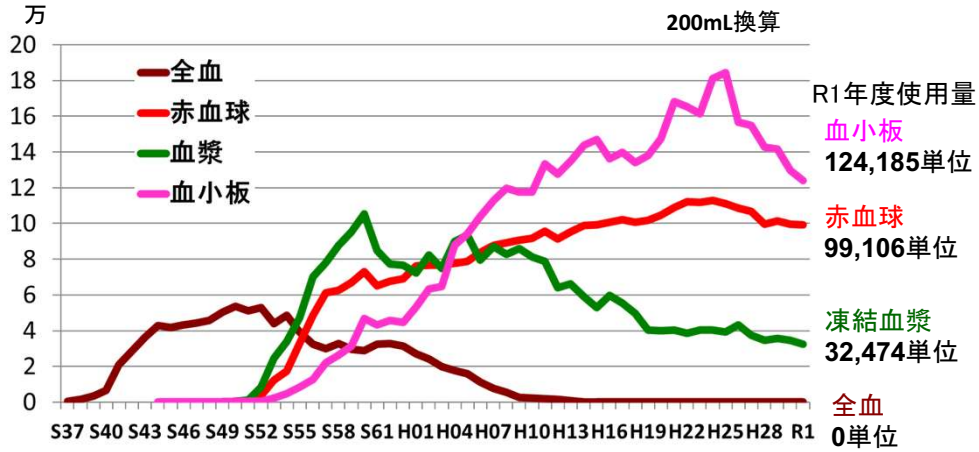


血友病の患者さんに



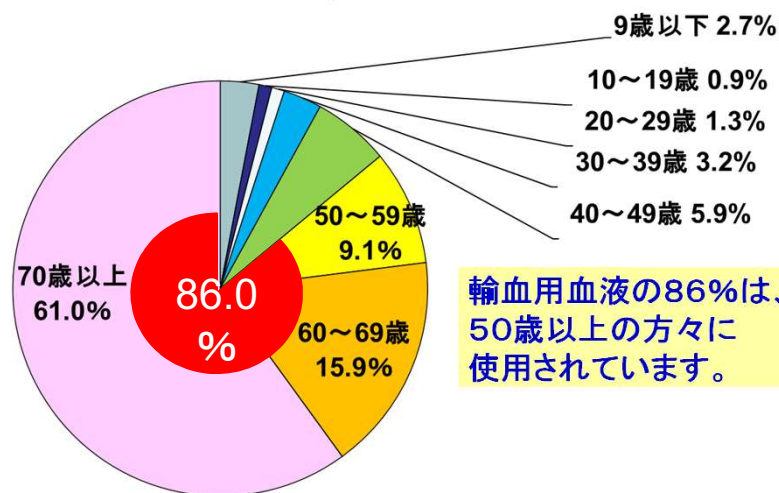
血漿を分画・精製した各種「タンパク質」製剤

## 岡山県での輸血用血液の使用量



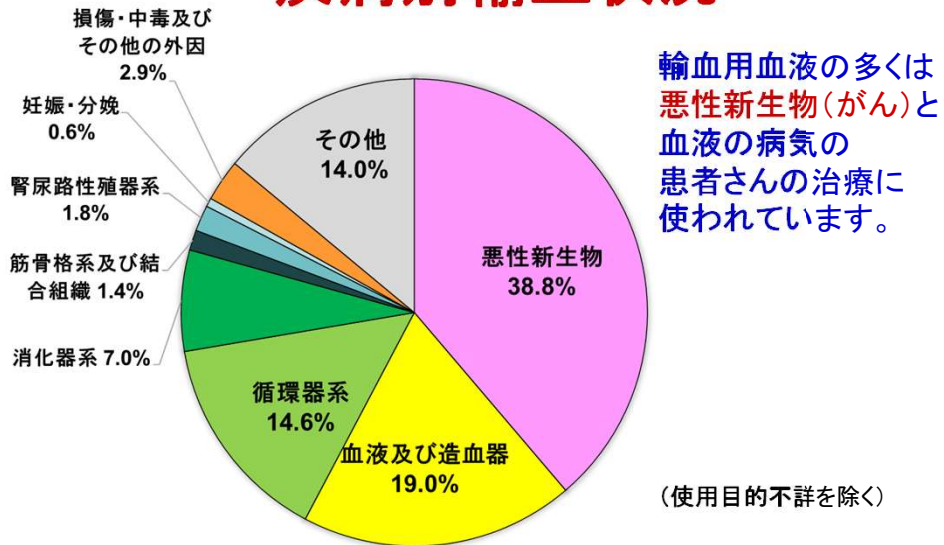
血小板と赤血球は長期にわたり増加してきたが、ここ数年の伸びは鈍化している。

## 年代別輸血状況



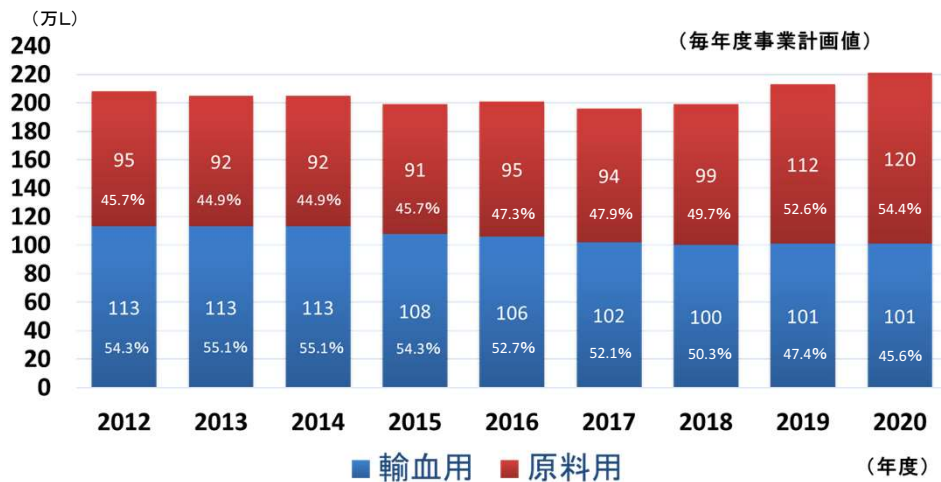
※岡山県では医療機関からのデータがないため、東京都福祉保健局「平成30年輸血状況集計結果」より抜粋

## 疾病別輸血状況



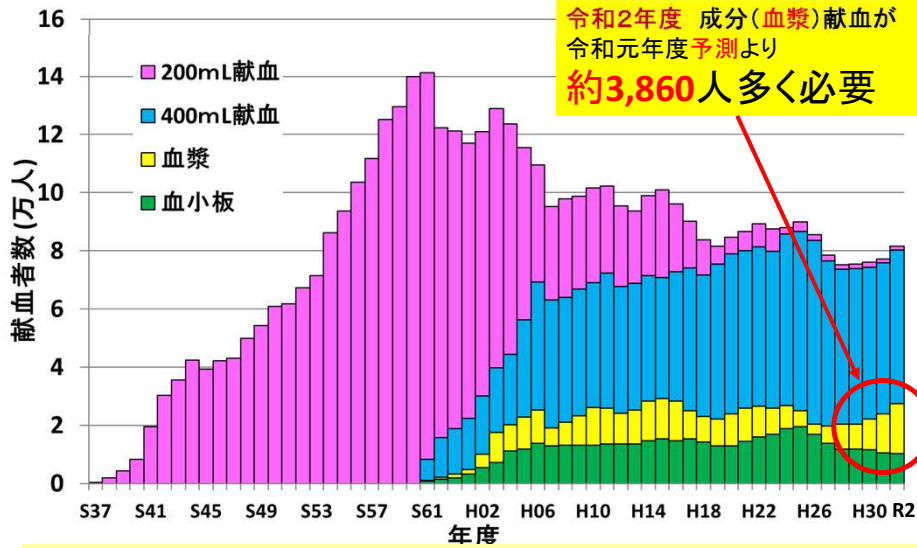
※東京都福祉保健局「平成30年東京都輸血状況調査集計結果(概要)」より

## 献血血液の確保計画量の推移



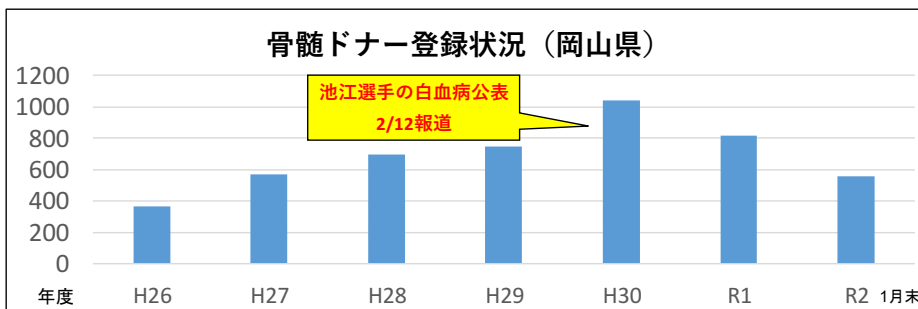
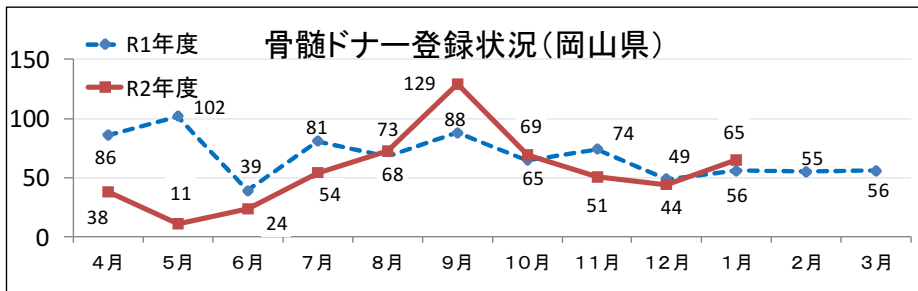
今後、原料血漿必要量は増加することが見込まれている。

## 岡山県の総献血者数の推移

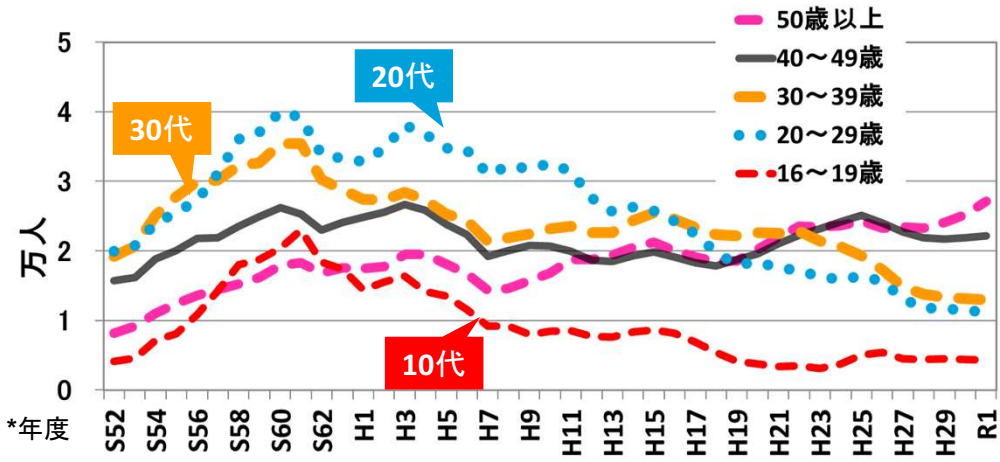


● 総献血者数は400mL献血の推進により、昭和61年度の141,205人をピークに減少している。

## 骨髄ドナー登録状況(岡山県)

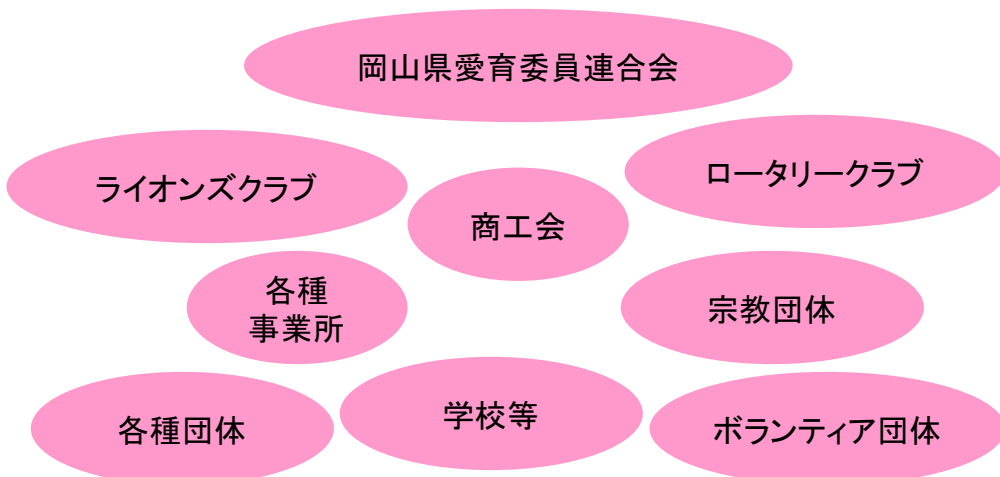


## 岡山県の年代別献血者数の推移



平成21年度と比較すると10代~30代の献血者数が約34%減少している。  
 少子高齢化に対応するため、10代~30代の献血者数の増加が望まれる。

## 献血にご協力いただく各種団体



- ・ポスター、チラシによる周知活動
- ・献血のお声掛け



## キャンペーン・イベント(幅広い世代)

- ・赤十字出前講座
- ・献血セミナー
- ・晴れの国キャンペーン(学生ボランティア主催、LC共催)
- ・愛の血液助け合い運動月間オープニングセレモニー
- ・献血ルームキャンペーン
- ・夏休み親子見学会
- ・愛の血液助け合い運動月間感謝のつどい
- ・中国四国学生統一キャンペーン
- ・キッズ献血
- ・全国学生クリスマス献血キャンペーン
- ・**はたちの献血キャンペーン**
- ・献血ポスターコンテスト

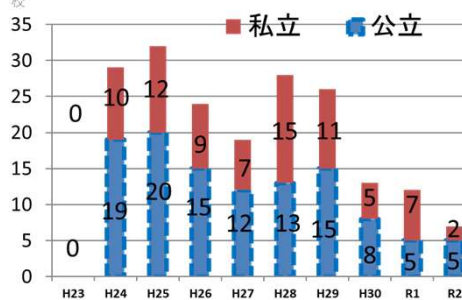


HPや「ラブラッド」  
で情報発信

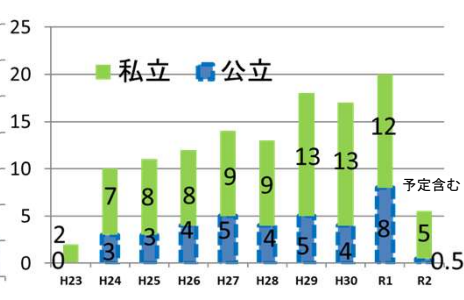
## 赤十字出前講座



赤十字出前講座(実施校)



高校献血実施(実施校)



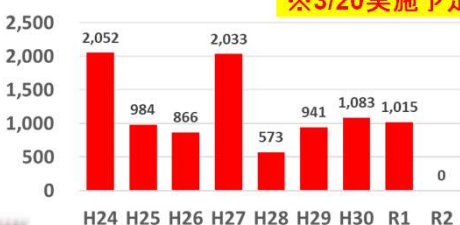


# キッズ献血

36回開催  
9,547人参加  
※3/20実施予定



年度別参加者数

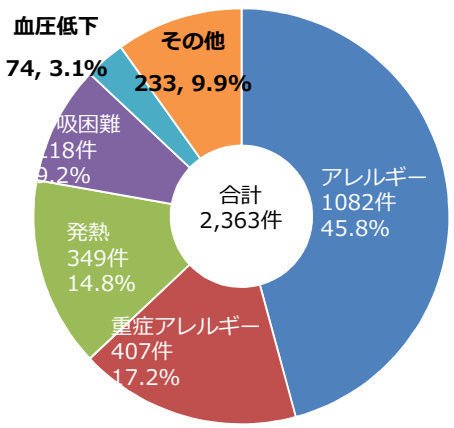


R2.3.20 イオンモール倉敷 実施予定

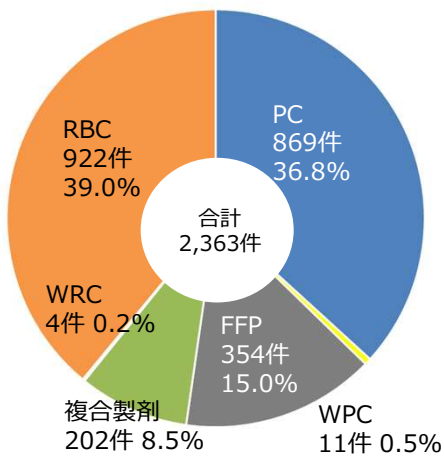
## 赤十字血液センターに報告された 非溶血性輸血副作用 (2019)



副作用の種類

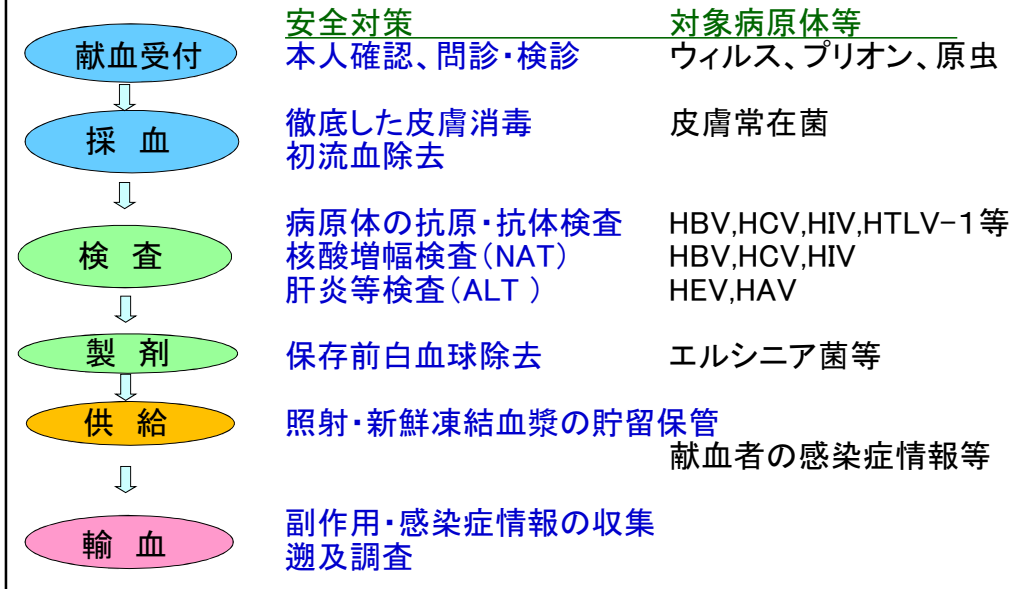


使用製剤の種類

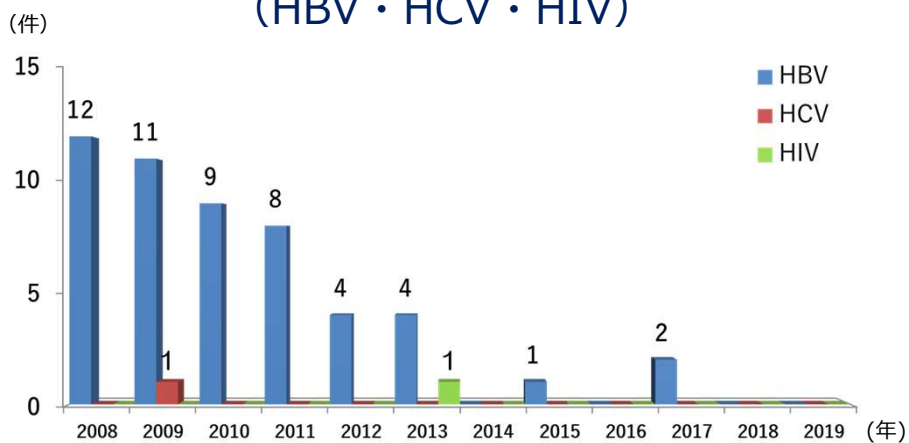


輸血情報2009-172より

# 輸血用血液の安全性確保対策



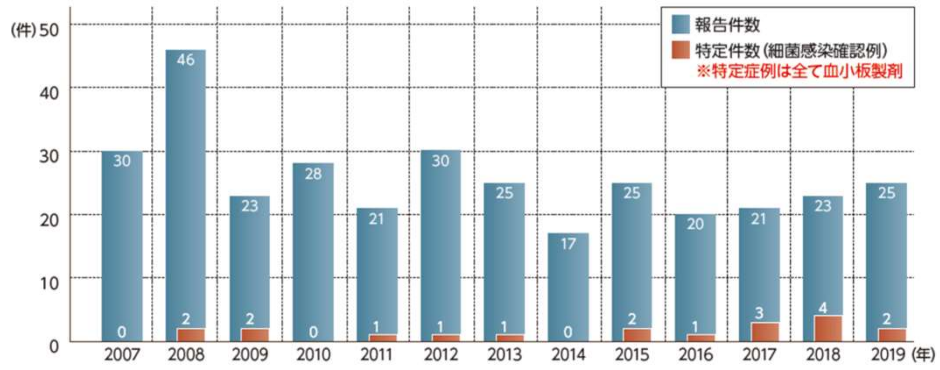
## 採血年別輸血後感染症の推移 (HBV・HCV・HIV)



血清学的検査法の変更 (CLEIA)      HbC抗体検査の判定基準変更  
 NAT(20プールNAT)システムの変更(高感度化)      個別NAT導入

●同一献血血液由来症例数は除外

## 輸血による細菌感染症疑い症例の推移



輸血情報2012-173より

ご静聴有難うございました

